|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 本時のねらい  【焦点化】 | | ※本時の目標（山場）を一つに絞って明確に書く | 指導の工夫  ◎評価方法・観点  ○個別の配慮・支援  ★伝え合いが深まる工夫 |
| 展開の工夫  【構造化】 | | ○教師の発問、予想される児童の反応 |
| 導入 | 教科に合わせて、おもしろそうなどの文言や展開１・展開２などの枠を変更してよい。 | | ※謎解きやしかけの  工夫で、興味・関心  を高める。 |
| おもしろそう |
| めあて | ※子供のことばでシンプルに設定する。 | |
| ※ユニバーサルデザインなど、指導の工夫を書く  焦点化→ (焦)  視覚化→ (視)  共有化→ (共)  ※つまずきが予想される子供に対して、一斉指導の中で、個別に関わりながら行う、具体的な配慮、支援について書く。  ★考えたくなる工夫、伝えたくなる工夫、伝え合いが深まる工夫を記入する。 |
| 展開１ |  | |
| やってみたい |
| できた | ※授業の山場  山場  「ああそうか！できた！わかった！」など  子供が授業のめあてを理解した場面のことば | |
| ※評価の観点と  　具体的な評価方法  　　　　　　を書く  例:～について考える  ことができる  　　　　　　(発言）    ・関心・意欲・態度  　　→【関・意・態】  ・思考・判断・表現  　　→【思・判・表】  ・技能 →【技】  ・知識・理解  　　→【知・理】 |
| 展開２ |  | |
| もっとやりたい |
| まとめ |  | |  |

指導案　　　　　年　　組　計　　名　　授業者